

感染症患者搬送装置 ポータブルアイソレータ



CHOLERA
PLAGUE
DIPHTHERIA
SARS
SMALLPOX

- 軽量で組み立て式、場所を選ばず迅速搬送
- 救急隊員の安全確保と負担軽減
- 既存ストレッチャ全機種に装着可能
- 搬送車両の改造不要で費用節減

仕様表

型 式	陰圧式ポータブルアイソレータ				
	材 質	透明塩化ビニール製			
患 者 収 容 器	全 長	1,900mm	バ ッ ク 収 納 時	縦	570mm
	全 幅	500mm		横	700mm
	全 高	600mm		厚 さ	100mm
	重 量	14 kg			
陰 圧 除 菌 装 置	全 長	400 mm			
	全 幅	245mm			
	全 高	300mm			
	重 量	16 kg			
陰 圧 モ ー タ ー	モ ー タ ー	DC12V 0.675 m ³ /min タービン式 (換気回数 81 回/h)			
	圧 力	陰圧 -7.8 Pa			
バ ッ テ リ	型 式	DC12V メンテナンスフリードライバタリ (バッテリー容量インジケータ付)			
	充 電 時 間	24時間			
	使 用 時 間	フル充電時 約90分間駆動			
AC・DCコンバータ	AC100V → DC12V30A (トランス付)				
殺菌酵素HEPAフィルタ	捕集効率0.3μm 99.97%以上 230×130×45H (差圧ゲージ付)				
紫 外 線 殺 菌 灯	殺菌線 253.7nm				
使 用 電 源	本体付属バッテリー12V ・ AC100V				
	搬送車両バッテリー12V				

※当カタログの内容は、予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい。

使用上の注意点

1. 搬送する患者には、マスクを着用させて下さい。
2. 陰圧モーターの作動中は、患者への酸素投与は避けて下さい。
3. 救急隊員はマスク・プラスチック手袋等を着用して、感染防止に努めて下さい。
4. 患者搬送後は、カプセルなど装置全体を80%アルコールで清拭して下さい。
5. 使用後のカプセルの消毒中は、装置の作動をしないで下さい。また、装置再作動の場合はモーター故障の原因となりますので、充分乾燥後に行ってください。
6. 搬送車々内のAC100V電源を使用すると、容量不足でAC・DCコンバータのブレイカが落ちる場合があるので、必ず車内の12V電源を使用して下さい。
7. 塩素殺菌槽の消毒液は減少しますので注意して下さい。また、減少した場合は陰圧装置の電源を止めて消毒液の補充をして下さい。
8. 病院内での長時間連続運転は避けて下さい。
9. 装置本体のバッテリー使用時間はインジケータを確認のうえご使用下さい。
10. 感染症患者の搬送後は装置内の殺菌のため紫外線殺菌灯を約10分間点灯して下さい。
11. 酵素HEPAフィルタの交換は差圧ゲージを確認のうえ実施して下さい。

お問い合わせは、下記までお願いします。

 **株式会社 オートワークス京都**
AUTO WORKS KYOTO

本 社 〒611-0033 京都府宇治市大久保町西ノ端1番地1
TEL 0774-44-2327 FAX 0774-43-4650

特徴

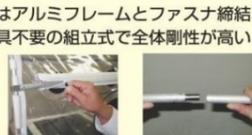
より速く、より安全に・・・

NGF-03- II型ポータブルアイソレータはあらゆる感染症患者から2次感染を防ぎ、搬送隊員の負担を軽減し、より速く、より安全に搬送するために開発しました。

カプセルはファスナによる横開き式で患者の収容作業が容易です。



カプセルはアルミフレームとファスナ締結構造で工具不要の組立式で全体剛性が高いです。



丈夫な厚肉の透明塩ビシート製カプセルで、使用後は平面状に展開でき拭拭の消毒作業が簡単です。

インナーストレッチャーを使用しない時は、救助ボードによる搬送も可能。(オプション)



既存のインナーストレッチャーへの固定はワンタッチペルト方式でどんなインナーストレッチャーにも対応できます。



患者への処置用操作孔は、処置動作に追従でき、使用後の消毒作業も簡単です。



インナーストレッチャーを使用しない場合は、救助ボードで搬送できます。全周8ヶ所あるグリップで搬送作業が容易です。

患者さんの氏名、性別、容態を記入したトリアージ用ポケット。



除菌装置、陰圧モーター、バッテリーはコンパクトな収納ケースに収まり持ち運びが容易です。ストレッチャーにバンドで吊り下げることが可能で、カプセルとの接続はワンタッチで出来ます。



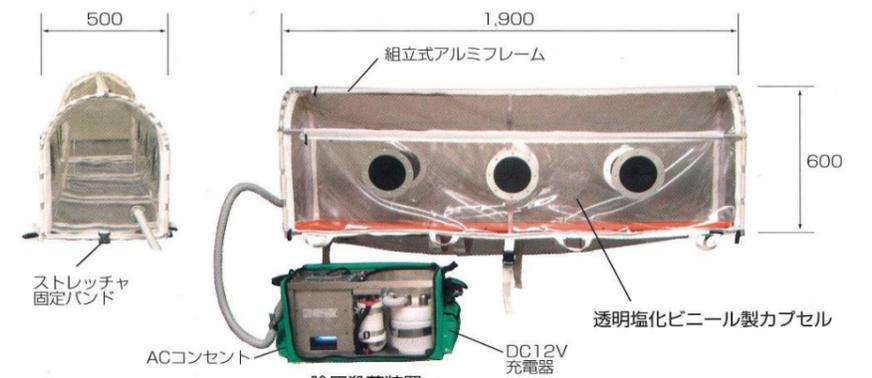
バッテリーの使用状況が一目でわかるようにインジケータで確認することができます。



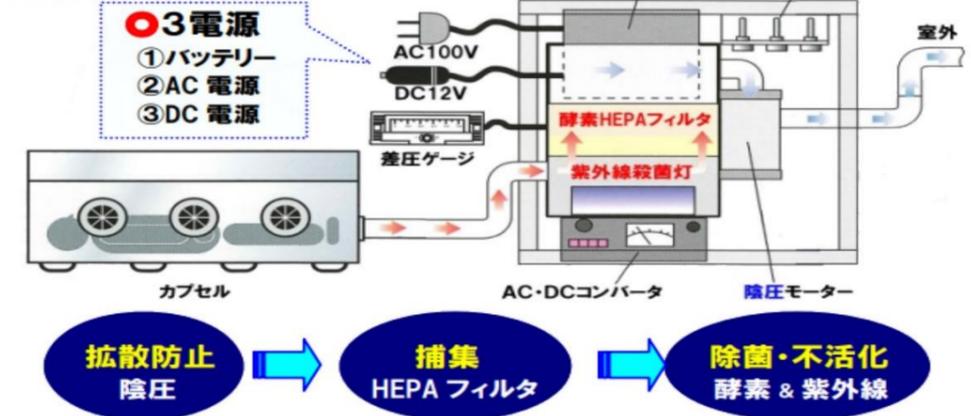
寸法・殺菌装置概略



■装置全体



【システム図】



ご使用方法

時には搬送する患者さんが感染症患者かどうか分からない事もあります。本装置を搬送車両に車載し、患者さんの容態を現場で確認し、その場で組み立て搬送できる機動力があります。



■車載してある装置を取出す。



■その場で組み立てが可能なコンパクト設計で、どこへでも持ち運びできます。



■ケースからカプセルを取り出し組み立て開始。



■両サイドを持ち上げファスナで自立させる。



■折りたたみアルミフレームをカプセルに通し、ファスナで固定する。



■両サイドと本体部を連結し、ファスナで固定する。



■ビニールフードを展開して患者搬送後の消毒作業をします。作業が簡単で時間や費用の節約になります。



■ストレッチャーに固定したまま特別な器具なしで収容できます。



■既存の全てのストレッチャーに対応でき、また殺菌装置はストレッチャーに吊り下げも可能。



■ビニール製カプセルの重量はわずか10kg。階段や狭い所でも隊員への負担が軽減できます。



■カプセルのフードを開いて患者さんを収容。間口が大きく作業が楽です。



■カプセル側吸引ホースと殺菌装置を結合して搬送準備完了。組立は一人でも数分で可能。